

遠くからご苦労様！



陸前高田市米崎中学校から見る
被災地：脇ノ沢地域

気仙地域で、NPO 愛知ネットと協力しながら、社員がボランティアとして何が出来るのか考えている。

広島県からも 出水幸司さん・秋元 悠さん

NPO 法人ピースビルダーズに所属するお二人は、3回目の気仙入りでした。この法人は、国際協力を行っている NPO であるが、今回の東日本大震災は、国際的な災害であるとの考えから、調査を兼ねて支援に来た。大船渡市に来た理由は、いわて NPO 活動交流センターを訪問し相談の結果、気仙への支援要請があり、4月12日の陸前高田市広田町慈恩寺の炊き出しにも参加した。愛知ネットの炊き出しに資金的な支援を行った。

食事から 自律復興への支援は？



がれきの中の陸前高田市体育館

が必要かも相談したが、避難民の数が多く、被害が大きかったことから、自立調理まではまだ時間がかかるのではと思った。だが、交代での調理班を組織し、温かい食事を取る方法を行政も避難所も検討する段階に至ったのではと思っている。

大洞和彦さん トヨタ自動車(株) 愛知県
社会貢献推進部 企画室 環境・社会活動グループ長
トヨタボランティアセンター長

日頃から付き合っている愛知ネットが住田町を起点に気仙地域を支援していることから。また、愛知県社会福祉協議会が岩手県特に大船渡市の社協を支援するとのこともあり、トヨタグループとしてボランティア活動を気仙地域で行うということから気仙に来た。

トヨタ自動車(株)として、東海東南南海の地震が予想され、災害が起こった際は、まず自分を守る、家族を守る、地域を守る等々について知識を持った人を多くしようと10年前から、毎年研修会の開催、施設見学等を行い、自分たちの地域で災害が起こったときも、他所で起こった際も、取り組みを行おうと取り組んで来た。



昼食提供後の調理ボランティア

4月15日は、赤崎町漁村センターで炊き出しを行った。昨日住田町の愛知ネットの拠点にて調理してきた材料を煮るだけから11時に現地に合流した。今日は愛知ネットの皆様を中心に、岩手若者サポートステーションから5名、オープンハート、まちの保健室の皆様のご協力にて「カレーうどん」を食べて頂いた。

炊き出しを行いながら、温かい夕食を取れるように避難している方々にて調理するには、必要な調理用具

気仙市民復興連絡会

4月5日に会を立ち上げ、陸前高田市のボランティアセンターからの要請から支援活動を開始し、今では炊き出しを行っているが、十分な意見交換もしていないことから、下記のとおり話し合いを行います。

- ◆日時 4月21日（木）午後3時
- ◆場所 YSセンター内、連絡会事務所